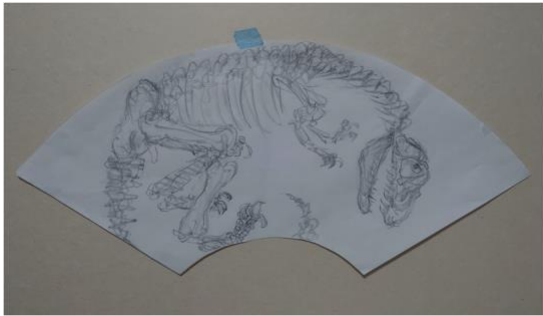


日本画 扇面 制作手順

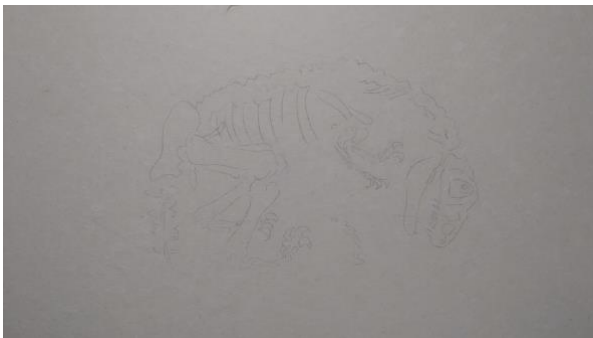
東京藝術大学教育研究助手 山田雄貴



1. まず、扇面の大きさの紙に、扇面の特徴を生かした下図を考えます。今回、扇面の形に沿った恐竜を描きます。



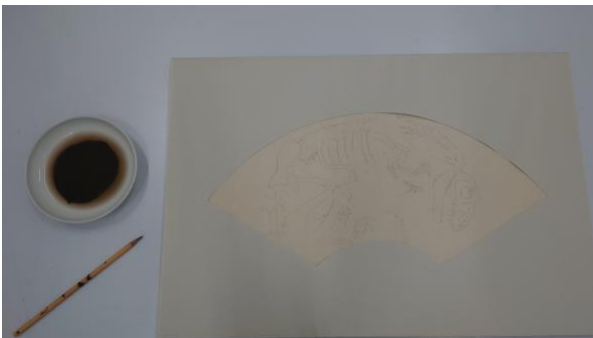
2. 鉛筆の黒鉛を塗ったトレーシングペーパーをパネルに貼った雲肌麻紙(くもはだまし)と下図の間に挟み、転写します。



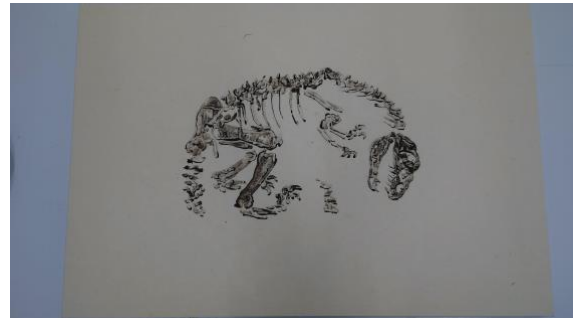
3. 転写後



4. 扇面上に切り抜いた紙をあて、完成のイメージをします。



5. 天然焦茶石9番で恐竜の形を描いていきます。



6. マチエール(絵具の凹凸)を作りながら、シルエットを出していきます。



7. 天然辰砂(てんねんしんしゃ)10番と新岩桃(しんいわもも)13番で部分的に塗っていきます。



8. 天然辰砂（てんねんしんしゃ）は、溶き降ろした時に出る上澄みを捨てます。



9. 天然白翠末9番で背景を塗っていきます。



10. そして、天然岩黒の白番で背景を塗り重ねます。



11. シダ植物の模様に切った金箔を貼り、その後調子を見ながら描いていきます。



12. 落款をして完成

使用画材

支持体（得應軒）：木製パネル12号（1200円）、雲肌麻紙三六判ドーサ引き（7700円）
 絵の具（得應軒）：天然焦茶石9番（一両15g 360円）、天然辰砂10番（一両15g 1665円）、
 新岩桃13番（一両15g 740円）、天然白翠石9番（一両15g 360円）、
 天然岩黒白番（一両15g 385円）、純金箔（10枚 4000円）
 筆（得應軒）：かすみ中（1620円）、白玉面相中（1080円） 全て税込価格